

総額15億円規模の市独自コロナ対策

観光客の激減や市民生活の委縮で落ち込む市内経済を下支えし、V字回復に導くため、新型コロナウイルス感染症対策事業を実施しています。

なお、一部事業は「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業^{*1}」と、「太宰府 Beautiful Harmony事業^{*2}」として実施しています。

※国事業の特別定額給付金(73億円)、子育て世帯臨時特別給付金(1億円)、ひとり親世帯臨時特別給付金(1億円)は除く。



3億円の財源捻出で基金を取り崩さずメニュー充実

下記3つの財源により、9月議会で本市独自の追加コロナ対策予算を計上しました。

- 三役の給与カットや市長車廃止、市議会公務費削減などの身を切る改革を始め大胆な歳出カット **1億円**
- 令和効果を反映した市税、ふるさと納税などの増収による余剰金 **1億円**
- 4倍増を記録した令和元年度をも大きく上回る勢いのふるさと納税増 **1億円**

主な事業

■子どもたちへの図書カード配布^{*1}

市内小中学校の児童生徒および未就学児に図書カード(1,000円分)を配布。

■小中学校ICT環境整備事業^{*1} ^{*2}

子どもたちの学びの機会の保障のため、児童生徒1人1台のタブレット、教室のモニター、セキュリティ対策などの整備を推進。

■LINEオンライン学習^{*1}

家庭学習における学びの機会の選択肢として、LINE活用による、特に受験を控えた中学三年生向けにオンラインで教育コンテンツを提供。

■新生児臨時特別給付金給付事業^{*1}

受付中

申請期限：
令和3年4月20日(火)

特別定額給付金の基準日(令和2年4月27日)以降に生まれた新生児(令和2年4月28日～令和3年3月31日)に対し10万円を給付。

■家族内感染対策事業^{*1} ^{*2}

受付中 申請期限:令和3年3月31日(水)

家族内での新型コロナウイルス感染症感染拡大防止と宿泊施設の活性化を図るため、濃厚接触者、医療従事者などとその家族などに宿泊費を助成。

■高齢者のインフルエンザ予防接種の無料化

新型コロナウイルス感染症の影響が続き、冬季の季節性インフルエンザ感染の流行期と重なることとなった場合、季節性インフルエンザを予防することで「新型コロナ患者とインフルエンザ患者の見極め」で医療現場が混乱することを防止し、重症化予防にも帰する。

後日福岡県
が実施表明

■水道料金・下水道使用料の基本料金減免^{*1}

固定費対策として令和2年8月の1カ月間の水道料金・下水道使用料の基本料金を減免。

■がんばろう令和支援金^{*1}

受付中 申請期限:令和3年2月15日(月)

大きな打撃を受けている地元中小企業・個人事業主などに対し、売上の減少額に応じて国または県の支援金に最大30万円を限度に加算して給付。

■プレミアム商品券事業^{*1}

市民生活の下支え、消費の喚起とともに観光誘客を促進し、地域経済の回復を目指して、販売額に30%のプレミアム分を上乗せした独自の商品券5億円分を発行(事業主体は商工会)。うち1億円分はキャッシュレス形式の「だざいふペイ」として話題に。

■事業者感染症対策実施支援事業^{*1}

新型コロナウイルス感染症感染防止対策を実施する市内事業者に対して、1事業者当たり3万円を給付し、感染防止に取り組む事業者をPRするため「太宰府“コロナ減”宣言」ステッカーを配布。さらに、特に優れた感染防止対策を行う事業者を選び、表彰する「太宰府コロナ減アイデアコンテスト」を実施。



※1新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と地方創生を図るため、地方公共団体が地域の実情に応じてきめ細やかに必要な事業を実施できるよう創設された、交付金を活用する事業。

※2太宰府 Beautiful Harmony事業
ふるさと納税の増加や太宰府 Beautiful Harmony ファンドを活用し、市民の感染症拡大防止対策や県内医療体制強化への協力、観光V字回復プロジェクトなどを総合的に実施する事業。

新型コロナウイルス感染症対策事業

その他の本市が実施している主な新型コロナウイルス感染症対策事業は次のとおりです。

	事業名	事業概要
生活支援	住居確保給付金 ^{※2} 受付中	経済的困窮により住居を失った、または失うおそれがある市民に対して住居確保給付金を給付。
	児童扶養手当世帯支援給付金 ^{※1※2}	児童扶養手当受給者(所得制限除外者も対象)へ、ひとり親世帯の生活支援のため5,000円を給付。
	生活困窮者臨時給付金 ^{※1※2}	市内に住所を有し、社会福祉協議会において総合支援資金(生活支援費)特例貸付金の増額の決定を受けた世帯に対して5万円を給付。
	高齢者に対する臨時支援 ^{※1}	老人クラブなどの地域団体が新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じ、積極的かつ継続的な活動を行えるよう支援することを目的として、1団体当たり3万円の給付と、高齢者へのフレイル予防や感染症対策を取り入れた手帳の配布を実施。
	地域コミュニティ支援 ^{※1}	自治会活動において新型コロナウイルス感染症予防に必要な対策に係る経費を、市内6校区自治協議会へ支援。
	地域コミュニティバス支援 ^{※1}	高齢者および障がい者などの生活維持活動(買い物や通院など)に利用されているコミュニティバスの運行および乗客の密状態を避ける便数を確保するため、運行业者へ支援。
教育支援	給食費臨時補助 ^{※1}	新型コロナウイルス感染症感染防止対策に取り組みながら、学校生活を送る小中学生の給食費の一部を補助。
	図書館パワーアップ事業 ^{※1} 受付中	在宅で過ごす時間を豊かで有意義なものとし、外出抑制につなげるため、新たな情報と歴史的・文化的価値がある書籍を更新させ、読書環境を充実。
事業者等支援	雇用調整推進奨励金事業 ^{※1} 申請期限：12月25日(金)	国の雇用調整助成金などの交付を受けた事業主に対し、従業員を休業させる事業主の負担を軽減するとともに雇用の維持を支援するため10万円を給付。
	太宰府市商工会の体制強化支援 ^{※1}	太宰府市商工会における経営相談や事業者の継続支援に関する体制強化などを支援。
	筑紫地区検査センター運営支援 ^{※1}	筑紫医師会PCR検査センターに対して、検査を受けやすい環境を構築。PCR検査が必要と判断された市民の自己負担額相当額を補助。
	サテライトオフィス整備支援事業 ^{※1}	テレワークやワーケーションなど新しい生活様式に対応することを目的として、市内にサテライトオフィスを設置する事業者に対して開設費の一部を支援。

	事業名	事業概要
感染症対策	ごみ収集業者への支援物資配布 ^{※1※2}	ごみ収集業者へ、新型コロナウイルス感染症感染防止のための物資を配布。
	高齢者施設等従事者特別支援金 ^{※1※2}	新型コロナウイルス感染症感染リスクが高い介護などの分野で献身的に業務に従事している皆さんが安心して従事できるよう高齢者施設などに10万円を給付。
	医療機関等への支援物資配布 ^{※1※2}	新型コロナウイルス感染症感染リスクが高い医療の最前線で献身的に業務に従事している皆さんに、感謝と応援のメッセージを届けるため、医療機関などに対してクオカードなど3万円分を支給。
	届出保育施設等感染症対策事業 ^{※1※2}	届出保育施設の設置者に対し、新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じ、保育の提供を継続するための費用を補助することにより、届出保育施設における体制強化および事業継続を支援。
	乳幼児健診 個別健診への切替 ^{※1※2}	感染リスクの高い乳幼児健診(4ヵ月・1.6歳児健診)の集団検診を取りやめ、感染防止と健康維持を両立するため個別検診を実施。
	妊婦さんへの応援キット配布 ^{※1※2}	妊娠中の皆さんへ、新型コロナウイルス感染症感染防止のための応援キットを配布。
	Withコロナ観光整備事業 ^{※1※2}	疫病退散、災い除けとして建立された四王寺山山頂にある観音さまを巡り、3密を避けながら心のリフレッシュと健康増進を図ることで、新型コロナウイルス感染症に打ち勝つ「疫病(コロナ)封じルート」として、また感染症収束後には、多くの観光客に来ていただける貴重な観光資源としての環境整備。
	公共施設等管理維持体制持続化事業支援金 ^{※1}	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける指定管理者の感染拡大防止に係る点検管理および環境整備経費等を支援。
	避難所感染対策 ^{※1}	避難者の分散化による避難所増加への対応のため、スポットクーラーを配備。
その他	市役所職員の雇用拡大 ^{※1}	就職氷河期世代の採用を拡大するとともに、会計年度任用職員を雇用。
	#おうちで太宰府の充実	子ども向けの「だざいふ・学びの応援プロジェクト」、テイクアウトや出前、通販配送支援を行っている「#おうちで太宰府」を充実。
	情報配信システム整備事業 ^{※1}	防災やさまざまな住民サービスに関する情報を、必要とする人に適切なタイミングで届けるシステムを整備。
	庁舎外での各種証明書交付 ^{※1}	コンビニエンスストアなどでの各種証明交付を導入し、市役所窓口機能の一部分散化と、市役所内感染による閉庁時の市民サービスを維持。